

1. 略歴

- 1985年 3月 九州大学文学部史学科朝鮮史学専攻卒業
1987年 3月 九州大学大学院文学研究科（史学専攻）修士課程修了
1989年 3月 九州大学大学院文学研究科（史学専攻）博士後期課程中途退学
1989年 4月 九州大学文学部助手（～1992年 3月）
1992年 4月 久留米大学文学部専任講師（～1995年 3月）
1995年 4月 久留米大学文学部助教授（～1996年 3月）
1996年 4月 九州大学文学部助教授（～2000年 3月）
2000年 4月 九州大学大学院人文科学研究院助教授（～2002年 3月）
2002年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授（～2007年 3月）
2007年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授（現在に至る）

2. 主な研究活動

a 専門分野

朝鮮中世・近世史

b 研究課題

朝鮮王朝（李朝、1392-1910）時代の水運史や財政史・経済史などを中心に研究している。現在の主たる研究課題は、(1) 朝鮮前期漕運制研究、(2) 朝鮮中世・近世海事史研究、(3) 朝鮮中世・近世「水環境」研究、(4) 朝鮮後期財政史研究、(5) 朝鮮時代古文書研究などである。(1)の漕運制とは朝鮮時代における官営の税穀船運機構であり、朝鮮前期におけるその整備・変遷過程や運営実態等を明らかにする作業に取り組んでいる。(2)は(1)から派生したもので、朝鮮の前近代史を「海」とのかかわりで再構成するという問題意識から、済州島民の海難関係記録の分析を通じて彼らの海上活動の実態や異国への漂流・漂着をめぐる諸問題、朝鮮時代の海防体制や「水賊」などについて研究している。(3)は(2)をさらに発展させ、広く人と「水」とのかかわりを明らかにしようとするもので、当面は漢江という内陸河川を主たる対象として、水運だけでなく、渡船や漁撈、さらには治水・水利といった点も含めて「水環境」史の構築をめざしている。(4)は、朝鮮後期に施行された新税制である大同法について、その運用実態を地方財政との関連に注目しながら研究している。このほか、高麗から朝鮮への王朝交代期における社会的・経済的諸変動の歴史的意義をいかに理解するかという問題にも関心を抱いている。(5)は日本各地の諸機関に所蔵される朝鮮古文書の調査である。2010年度から2011年度にかけては、これらのうちとくに(1)(4)と(5)の課題を中心に研究を進めた。

c 主要業績

(1) 著書

(共著)

朝鮮史研究会編『朝鮮史研究入門』名古屋大学出版会、2011.6（担当部分「第4章 高麗／2 経済史・社会史・文化史」110-126頁）

(共編著)

原尻英樹・六反田豊・外村大編『日本と朝鮮 比較・交流史入門—近世、近代そして現代』明石書店、2011.11（担当部分「第1章 朝鮮王朝時代の国家と政治」47-74頁、「第2章 近世の日本と朝鮮—国家間関係と人々の交流」75-101頁）

(2) 論文

六反田豊「十九世紀慶尚道沿岸における「朝倭未弁船」接近と水軍営鎮等の対応—『東萊府啓録』にみる哲宗即位年（一八四九）の事例分析—」井上徹編『海域交流と政治権力の対応』（東アジア海域叢書 2）汲古書院、295-347頁、2011.2

六反田豊「洞春寺所蔵『新編古今事文類聚』紙背朝鮮文書の復元と検討」『山口県指定有形文化財『洞春寺開山嘯岳鼎虎禅師手沢本』保存修理事業報告書』2011.3

六反田豊「朝鮮時代の「武」と武臣」『韓国朝鮮の文化と社会』第10号、23-60頁、2011.10

(3) 書評

六反田豊「書評 矢木毅『高麗官僚制度研究』」『朝鮮史研究会会報』第181号、18-22頁、2010.9

(4) 解説

六反田豊「朝鮮時代の君臣関係と王権」『アジア遊学』第151号、65-79頁、2012.3

(5) 学会発表

(国内)

六反田豊「朝鮮時代の「武」と武臣」韓国・朝鮮文化研究会第11回研究大会、東京大学、2010.10.23

六反田豊「大同法の歴史的意義とその運用実態」東方学会第61回全国会員総会シンポジウム「朝鮮朝後期の社会
と思想」、日本教育会館、2011.11.4

(6) 研究テーマ

日本学術振興会科学研究費補助金、六反田豊(研究代表者)・森平雅彦・石川亮太・長森美信(以上研究分担者)「朝
鮮半島の「水環境」をめぐる社会・経済・文化の歴史的諸相—漢江を中心として」2010～

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

(大学等非常勤講師)

埼玉大学教養学部、「韓国文化特殊講義I「朝鮮史概説」、2010.4～2010.9

埼玉大学教養学部、「韓国文化特殊講義II「朝鮮時代社会文化研究」、2010.10～

国際基督教大学教養学部、「前近代朝鮮史」、2011.4～2011.6

(市民講座等講師)

朝日カルチャーセンター・横浜、「朝鮮半島の歴史と文化」、2010.5～2010.7

世田谷市民大学、「朝鮮半島の歴史」、2010.9～2010.10

かわさき市民アカデミー、「世界を旅する⑤ 韓国・朝鮮ツアー歴史／②高麗から朝鮮王朝へ」、2011.4

かわさき市民アカデミー、「世界を旅する⑤ 韓国・朝鮮ツアー歴史／イ・サンとその時代」、2011.6

八丈島民大学、「朝鮮時代の歴史を学ぶ」、2011.2

(2) 学会

(国内)

朝鮮学会、常任幹事、編集委員、2010.4～

朝鮮史研究会、幹事、2010.4～

朝鮮史研究会、幹事長、2010.4～2010.9

韓国・朝鮮文化研究会、運営委員、2010.4～

韓国・朝鮮文化研究会、副会長、2011.10～

史学会、評議員、2010.10～

(海外)

韓国中世史学会、地域理事、2010.12～

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

財団法人東洋文庫、研究員(客員)、2010.4～

NHK教育テレビ「高校講座世界史」、講師、2010.4～